

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 18 日

新潟県知事 殿

提出者

住所 新潟県南魚沼市長崎813-3

氏名 テーブルマーク株式会社 新潟魚沼工場
工場長 吉岡 勝也

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 025-782-1001

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	テーブルマーク株式会社 新潟魚沼工場
事業場の所在地	新潟県南魚沼市長崎813-3
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 から 令和 8 年 3 月 31 日 まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	09 食料品製造業
② 事業の規模	製造高 13,764百万円 (令和6年度 実績)
③ 従業員数	250人 (令和7年3月31日現在)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・汚泥 自社で中間処理(脱水) → 処理業者へ委託(堆肥化)・動植物性残渣 収集・運搬(委託) → 処理業者へ委託(焼却) → 最終処分(埋立) 収集・運搬(委託) → 処理業者へ委託(メタンガス化)・廃プラスチック 収集・運搬(委託) → 処理業者へ委託(再資源化) → 発電(燃料) 収集・運搬(委託) → 処理業者へ委託(焼却) → 最終処分(埋立)・蛍光灯 ガラス屑 収集・運搬(委託) → 処理業者へ委託(再資源化)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙管理体制図のとおり

#

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度 (6 年度) 実績】								
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣	廃プラ	蛍光灯	木くず	廃油	乾電池
	排出量	5,692.47 t	719.11 t	320.43 t	0.06 t	0.36 t	5.95 t	0.05 t
	産業廃棄物の種類							
	排出量							
(これまでに実施した取組)								
生産設備のメンテナンスを行い、機械トラブルの減少に努め、トラブル時の廃棄ロスに削減に努めた。 品質管理の強化と生産管理システムを導入し、不適合品の発生を抑制させた。 汚泥脱水機の維持管理を強化し脱水効率の向上に努めた。								
【目標】								
② 計画	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣	廃プラ	蛍光灯	木くず	廃油	乾電池
	排出量	5,600.00 t	700.00 t	320.00 t	0.06 t	0.30 t	5.00 t	0.05 t
	産業廃棄物の種類							
	排出量							
(今後実施する予定の計画)								
メンテナンスを計画的に行い機械トラブルを削減、トラブル時の廃棄ロスを抑制し、前年同程度を目指します。 生産管理システムを最大限に活用し品質管理を徹底させ、不適合品の発生を抑制します。								

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)							
	動植物性残渣の分別方法の見直しを行い、再生利用率の向上に努めた。 廃プラスチックの分別・収集・保管を見直し、再生利用率の向上に努めた。							
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)							
	上記の分別を強化し、再生利用率の向上を目指します。							

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣	廃プラ	蛍光灯	木くず	廃油	乾電池	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
② 計画	産業廃棄物の種類								
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
実施する予定なし									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣	廃プラ	蛍光灯	木くず	廃油	乾電池	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t
② 計画	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	4,724.75 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t
	産業廃棄物の種類								
① 現状	産業廃棄物の種類								
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
② 計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
汚泥脱水機の性能維持管理し、脱水率の向上に努めた。生産アイテム変更に伴い廃棄物量の変化を調査する。									

汚泥脱水機の脱水効率を維持向上させ、前年同程度を目指します。
凝集剤の見直しを継続して行い、脱水効率の向上を目指します。
生産アイテム変更に伴い廃棄物量の変化を調査する。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（6年度）実績】								
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣	廃プラ	蛍光灯	木くず	廃油	乾電池
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	産業廃棄物の種類							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)								
実施していない								
【目標】								
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣	廃プラ	蛍光灯	木くず	廃油	乾電池
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	産業廃棄物の種類							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)								
実施する予定なし								

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（6年度）実績】								
①現状	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣	廃プラ	蛍光灯	木くず	廃油	乾電池
	全処理委託量	5,692.47 t	719.11 t	320.43 t	0.06 t	0.36 t	5.95 t	0.05 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への処理委託量	967.72 t	719.11 t	169.90 t	0.06 t	0.36 t	5.95 t	0.05 t
	認定熱回収業者への処理委託料	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	150.53 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	産業廃棄物の種類							
	全処理委託量	t	t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)								
処理業者、収集・運搬業者の現地調査を行い委託基準を満たしている事を確認した。委託先へのWDSの提示。								

【目標】										
① 計画	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣	廃プラ	蛍光灯	木くず	廃油	乾電池		
	全処理委託量	960.00 t	710.00 t	320.00 t	0.06 t	0.36 t	5.00 t	0.05 t		
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		
	再生利用業者への処理委託量	960.00 t	710.00 t	320.00 t	0.06 t	0.36 t	5.00 t	0.05 t		
	認定熱回収業者への処理委託料	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		
	産業廃棄物の種類									
全処理委託量										
優良認定処理業者への処理委託量										
再生利用業者への処理委託量										
認定熱回収業者への処理委託料										
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量										
(今後実施する予定の取組)										
<p>委託先処理業者の定期的な現地調査を実施します。 新たな処理業者の開拓をする際は、可能な限り優良認定業者、再生利用業者への処理委託を選定します。</p>										
※事務処理欄										

○廃棄物処理に関する管理体制

廃棄物処理統括責任者	新潟魚沼工場長	#
廃棄物担当者	新潟魚沼工場環境管理者 ・ 工務課	
新潟魚沼工場環境 マネジメント システム組織	<ul style="list-style-type: none"> * 廃棄物の発生抑制、再生利用、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運用を行う上で必要な事項を随時検討する。 ・ 統括責任者 - 工場長 ・ 統括管理責任者 - 製造部長 ・ 統括責任者補 - 環境管理責任者、品質管理責任者 ・ 内部監査チーム - 主監査員 (1名)、主任監査員補 (3名)、内部監査員 (11チーム) ・ 事務局 - 工務課 	
統括責任者	<ul style="list-style-type: none"> * 廃棄物処理方針の策定 * 工場の廃棄物管理規定の策定・改廃 * 廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認 * 委託契約の締結 	
統括管理責任者 環境管理責任者 品質管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> * 廃棄物処理計画の作成 * 廃棄物発生状況の把握と改善策の検討 * 処理業者、再生業者の調査、選定及び管理 * 新しい再生利用業者の開拓及び交渉 * 監督官庁への各種報告 * 各部署の単年度計画と実施状況の指示、取り纏め * 関連部署、従業員に対する教育・啓発 * 工程管理による不良品の発生抑制 * 品質保証上やむを得ず廃棄物となり得る製品の予防管理 	
主任監査員	<ul style="list-style-type: none"> * 監査の計画の策定と監査中の資源の有効利用 * 監査チームメンバーへの連絡、取り纏め、指揮 * 監査チームの統率と、結論の導き、監査員への教育 * 種々の衝突の防止と解決 * 監査報告書の作成 	
内部監査チーム	<ul style="list-style-type: none"> * システムの要求事項が合致しているか否かの検証 * 各部署毎の計画がシステムと矛盾しているか否かの検証 * システムが各部署で実施され、維持されているか否かの確認 * 実施されたシステムの有効性の確認 	
世話役・相談係 工務部	<ul style="list-style-type: none"> * 産業廃棄物管理票の交付・管理 * 産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 * その他関係する事項 	

